

「暑さ寒さも彼岸まで」昔からの言い伝えの通り、厳しい暑さが落ち着いてほっと一息つきました。その一方で、寒暖差が激しく、体がついていきません。皆さん体調管理には十分気を付けましょう。10月に入り、運動会の練習にも熱が入ってきます。新しい技や振りを覚えた後からが大切です。「どうしたらそろろうのか。」「どうしたらきれいになるか。」詰めた練習は、時に苦しくなります。そんな時は自分たちの演技を録画して、見てみましょう。幸い全教室に大型ディスプレイが導入されました。効果的に活用して、より高い完成度をめざして練習していきましょう。

5年生 野外教室 9月25～26日(県立足柄ふれあいの村)



9月25日(水)～26日(木)に、5年生が野外学習で県立足柄ふれあいの村に行ってきました。天気が心配されましたが、自然の中で仲間と協力する活動を通して、普段の授業や生活の中では学ぶことができない、多くの大切なことを学ぶことが出来たのではないかと思います。大雄山駅からの坂道を互いに励まし合いながら登ったり、

火起こしから頑張ってカレーを作ったり、自分たちで企画・準備してきたキャンドルファイヤーで盛り上がり、全ての場面で仲間と協力して楽しむ姿が見られ、子どもたち一人ひとりが達成感と充実感を味わうことができました。

「野外学習」という大きな行事を仲間と協力し、自分にとって苦手なことや辛いことも共に乗り越えてきた経験は、まさに「がんばる自分、支える仲間」だったのではないかと思います。子どもたち一人ひとりが考えて行動する力、団結する力は今後の学校生活に繋がっていきます。これから6年生とともに川村小学校のリーダーとして活躍してくれることを楽しみにしています。

子どもたちが素敵な2日間を過ごすことができたのも保護者の皆様の温かいご支援があったからこそです。本当に有り難うございました。





運営委員会

児童会目標を決めたり、川村会議の司会進行を務めたりします。またアルミ缶やペットボトルキャップの回収、赤い羽根の募金も行います。今月は9日に全校脱出ゲームを計画・開催し大盛況でした。

環境・栽培委員会

自然いっぱいの川村小。毎日草とりや花壇の整備、栽培をしています。池の周りが素敵な花壇になりました。広い校地をいつもきれいに整えています。



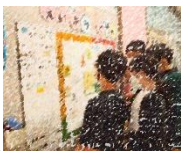
スポーツ委員会

毎日の体育館割り当て決めや、体育小屋の整理を担当しています。今年度は異学年交流を企画し、上級生と下級生が楽しく遊ぶ姿みられました。



ランチ委員会

毎日、今日の給食のメニューを掲示しています。先日は全校にアンケートをとり「苦手の野菜ランキング」を作成中です。後日、苦手の野菜をおいしく食べられる料理を紹介する予定です。



放送委員会

毎日朝、昼、帰りの放送をし、全校に日課を知らせています。特に昼の放送では自分で調べ、クロームブックにまとめたものを発表するなど、皆に楽しんでもらえるよう工夫して放送しています。



保健委員会

当番で校内のシャボネットの補充をしています。その他、昼の放送で手洗い・消毒等感染防止対策を呼びかけたり、長昼休みには熱中症やけがの予防を呼びかけたりしています。



図書委員会

本の貸し出しや返却、整理のほか、貸出冊数を調べて、上位の学級を表彰するなど、本に親しんでもらえるよう工夫して活動しています。



5年生 稲刈り 10月3日(木)



岸幼稚園と2組のかかしに守られた田んぼは、地域づくり委員会の皆様のご協力により、立派にもち米が実りました。

この日は連日の暑さがひと段落し、絶好の稲刈り日和になりました。始めはぎこちなかった鎌の使い方、次第に上手になり、手際よく作業を進めていました。刈った稲を麻ひもで束ねどんどん積み上げていきました。指示されて動くのではなく、自分にあった仕事をみつけて動いている姿に頼もしさを感じました。幼稚園児と一緒に虫取りをするのも、大事な役割です。大きなバツタを取ってもらった子は、とても嬉しそうでした。収穫祭で一緒に餅つきをするのが楽しみです。

校長室の窓から

10月4日(金)に山北中学校の合唱コンクールに6年生が参加させていただきました。昨年からはまった小中連携の取り組みの一環です。4年生の郡の音楽会がなくなり、大舞台上で音楽を披露する機会がなくなったため、ステージ上で堂々と歌う先輩たちの姿はとてもまぶしく感じたことだと思います。私たち教師にとっても、送り出した子どもたちが立派に成長した姿を見ることができるとは、何よりの喜びです。どの学年の歌声もすばらしかったのですが、3年生の学年合唱は特に素晴らしかったです。少ない人数の女子が歌うソプラノが、とてもきれいに響いていました。休憩時には中学生が小学生のところまできてくれました。懐かしい先輩に声をかけてもらい、うれしそうにしている姿は、日頃頼られる最上級生としての顔から、ちょっと甘えた表情になっていたように感じました。来年からよろしくお願ひしますね。

